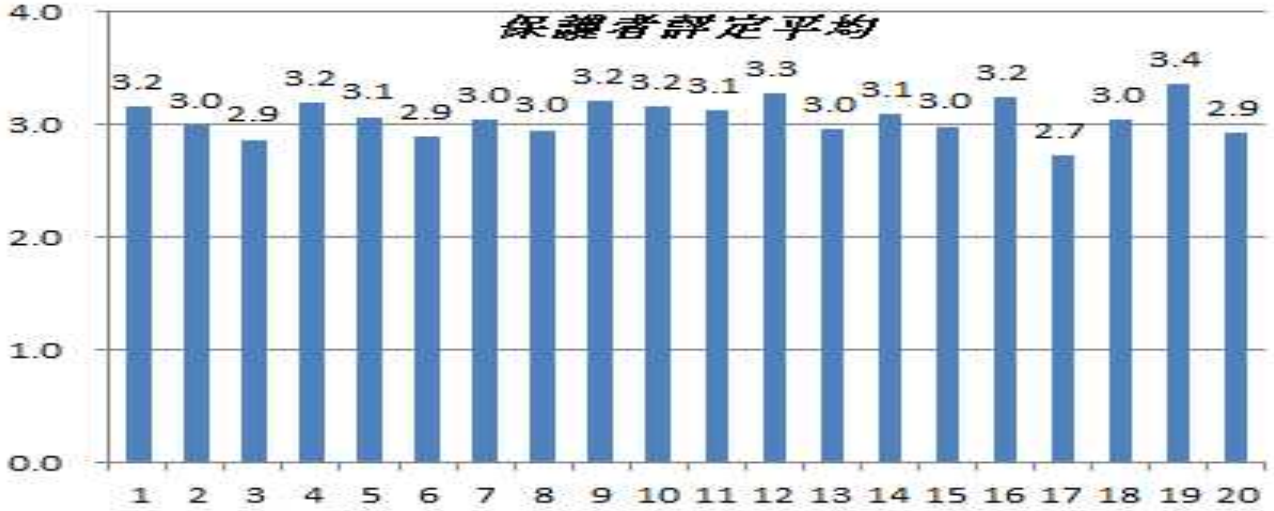


3、学校評価のための保護者アンケート結果

4：そう思う 3：大体そう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

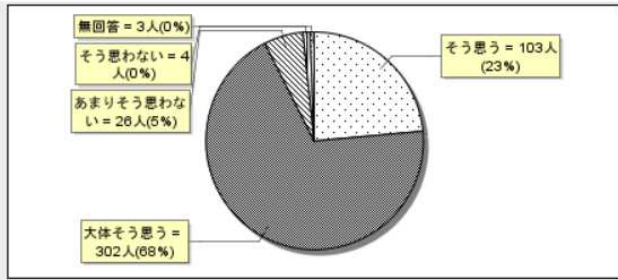
437家庭 / 450家庭

※縦軸（評価点数平均）・横軸（評価項目）

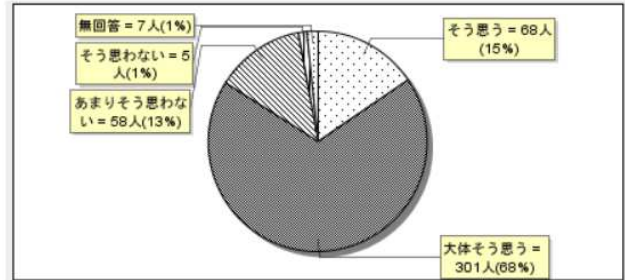


(1) 学習面

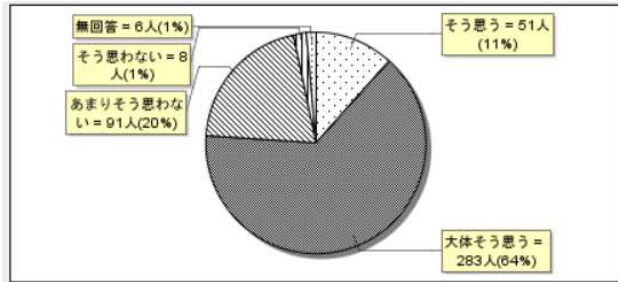
1、学習中の態度（聞く、聴く、話す、読む、発表する、参加態度は）
中学らしく適切でしたか



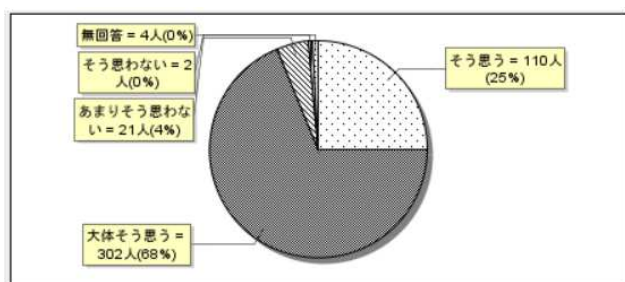
2、先生は、生徒にとってわかりやすい授業をする、工夫や努力をしていますか



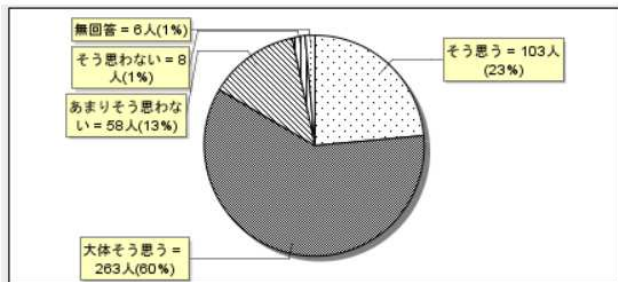
3、先生は授業をするうえで、子どもたちの理解度を把握しながら
授業や学習活動を進めていましたか



4、教室環境は学習の場としてふさわしいものでしたか。（備品、情報発信、
作品展示、学習資料など）



5、学校は生徒の学習達成度について、保護者会や個人面談、通知票
を通して分かりやすく示していましたか



《考察》・・・(1)学習面について

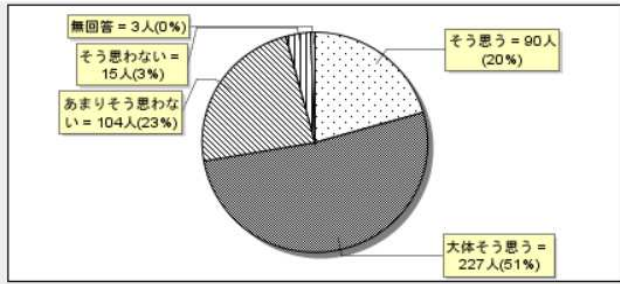
1の「授業中の態度や学習環境」については良好と考える家庭が多い。2の「わかりやすい授業」についてはわかりや易いと感じている生徒が多い。試験前には質問のあった生徒に対して個人レベルで補習等を行う場合があるが、普段は宿題や課題を期限までに出すこと。後で見返して授業の内容がわかるノートづくりと資料整理で相当な実力がつく。3の「理解度」については試験で到達度を図る他に、発表やノート、課題点検で理解度を把握する。授業へ

の積極的な参加で授業の主役になれる。また指導要領の改訂で各教科の内容もボリュームが増し計画的な家庭学習の時間は不可欠である。

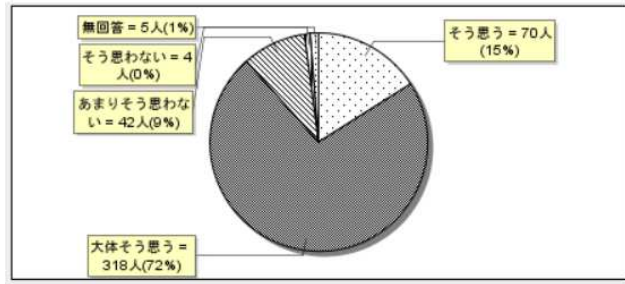
学校評価をするうえで、「普段の子どもの様子を見る機会が少ないので評価しにくい。」等の意見があった。保護者参観週間や各行事などの機会にぜひ学校に足をお運びいただきたい。通知票については成績の結果ではなく、学期の学習活動や他の活動の様子を学校から伝えるものであり、次の学習目標等の設定に役立てて欲しい。

(2) 生活面

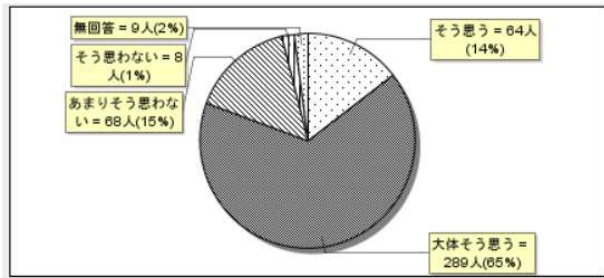
6、登下校や校内で見る生徒は元氣よく挨拶ができていましたか



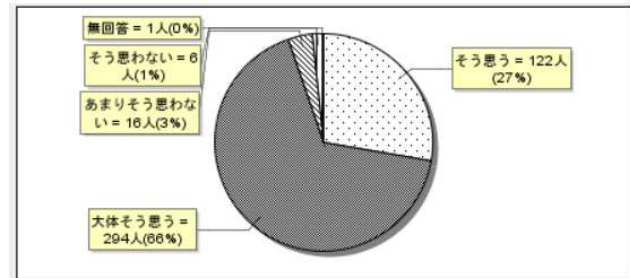
7、学級では一人一人の居場所が確保する配慮がなされていましたか。(学級組織、係活動、助け合い、認め合い)



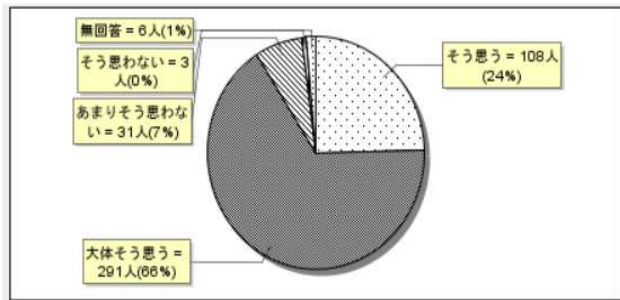
8、学校はいじめの早期発見、早期対応、防止に努めていましたか



9、学校行事は、自ら好ましい人間関係をつくれるように配慮され、目的を持って行われましたか。(宿泊学習、体育祭、合唱コンクール等)



10、学校、学年、学級だよりは年間を通じて、教育方針や生徒の様子、連絡等をわかりやすく伝えることができましたか

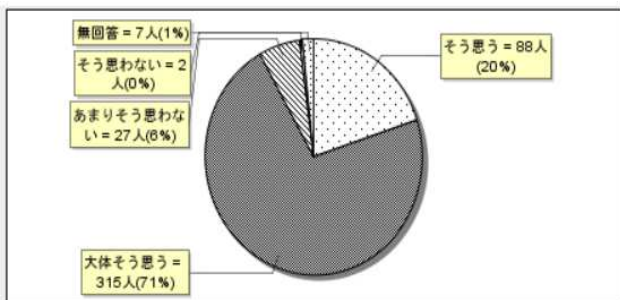


《考察》・・・(2)生活面について

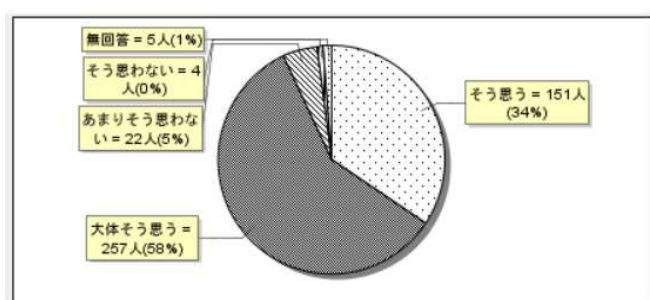
6の「挨拶」については良くなってきたと感じる保護者が多い。8の「いじめへの対応と居場所づくり」に関しては今以上にきめの細やかな対応が期待されている。9の「学校行事等」では目標に対して一定の成果がでていると評価する家庭が多い。10の「情報の発信」では、特にホームページの更新に関する指摘が多かった。早急に対応したい。

(3) 環境・安全・危機管理

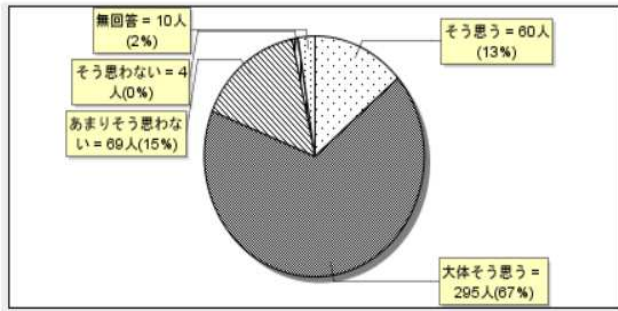
11、学校施設は学びや生活の場として、適切に安全・衛生等の管理がなされていましたか



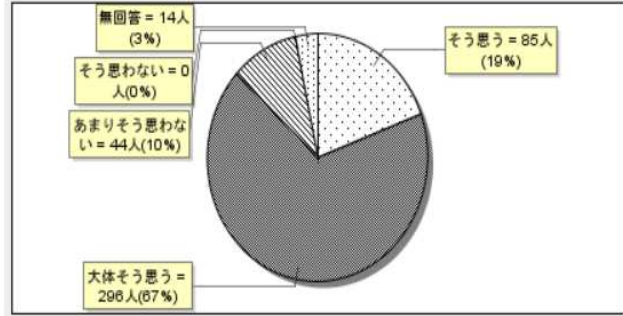
12、学校は生徒の健康維持、体力増進の為に体育的行事や部活動に積極的に取り組むことができていましたか



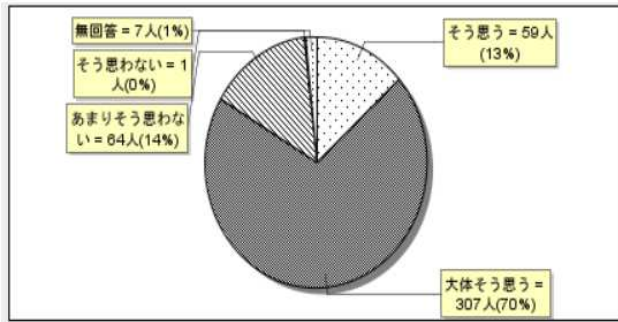
13、生徒は登下校時のマナー、社会ルールを守っていますか



14、学校は防災・防犯対策をしっかりと行い危機管理に努めていますか



15、わが子は避難訓練や安全指導を通して「自助・共助」の精神が養われていますか

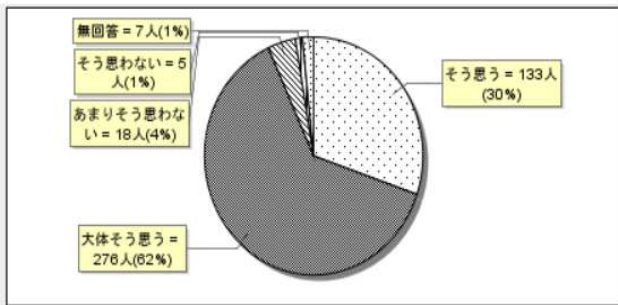


《考察》・・・ (3) 環境・安全・危機管理

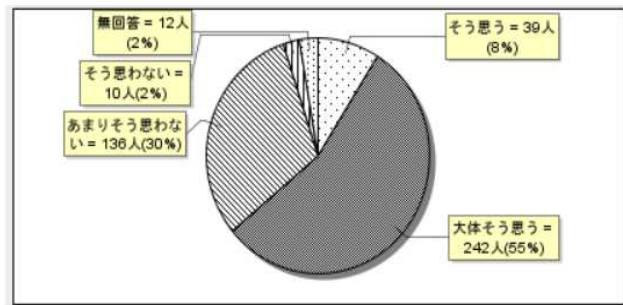
11の「学校施設等の安全」12の「部活動等の取り組み」では一定の評価がされている。13の「登下校のマナー」については、横に広がったり、マナーが悪く近隣の迷惑になることがあったので、指導後も再発防止に努めたい。15の「避難訓練」については、家庭でも十分に話し合っておきいざという時に備えられるように指導してほしい。

(4) 学校運営、地域連携、その他

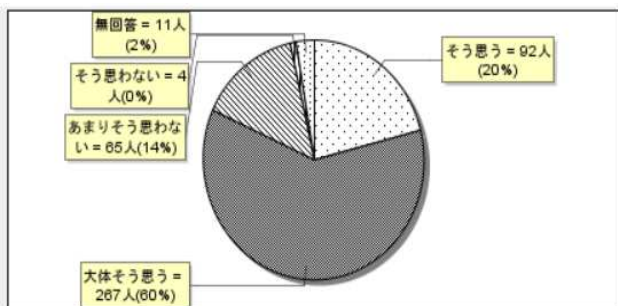
16、教職員は、保護者や地域からの問い合わせ、来校者に対して誠実な対応をしていましたか



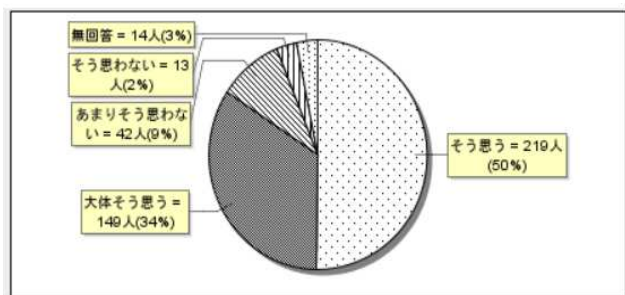
17、生徒は地域のボランティア活動や行事に積極的に参加し地域に根ざした活動ができていましたか



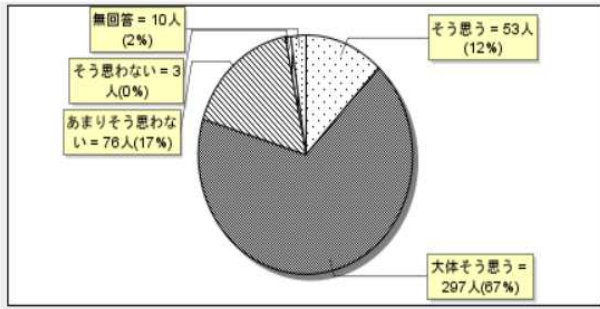
18、学校は生徒に社会性を育てるために職場体験、総合学習を通じて地域との交流を深めさせることができましたか



19、わが子は部活動に参加することをたのしみにしていますか。(3年生は「していましたか。」)



20、学校は教育目標の重点である「情操豊かで品位のある生徒」にせ
 まることができましたか



《考察》・・・(4) 学校運営、地域連携、その他

16の「問い合わせ」については良好な評価で、今後も丁寧な対応に心がけたい。17の「ボランティア」については、生徒会活動を通して地域にどうしたら貢献できるかから考えさせたい。18の「職場体験や総合学習」では積極的な地域との交流を評価している保護者が多い。が、久寺家学習を1年からできないことや職場体験を3日間にしてほしい等の具体的な要望もあった。19の「部活動」についてはおおむね良好な評価が多いが、人間関係や活動時間に関して

は更に家庭と連携を密にしていきたい。20の「品位」については評価が難しく「大体そう思う」に意見が集中しているが、「道を極める」ではなく、日本の伝統文化や地域の方との交流で人間として必要なものを身につけられるきっかけとなれば良いと考えている。その為「そう思う」の評価はもう少し上がって良いのではないかと考える。

全体を通して保護者の評価も落ち着いた学校のイメージである。学力の向上やいじめ問題、防災、安全については日々点検や修正・改善を心がけ、楽しく安心で安全な学校づくりに心がけていきたい。

4、学校評議員による評価

まずはこの一年、学校教育目標・具体的目標・重点課題、めざす教師・生徒の姿を明確化し学校全体の組織目標と先生方の個人目標をリンクさせ、目標達成に向けて全校を挙げて取り組み着実に成果を上げておられますことに敬意を表し心より感謝申し上げます。

重点目標である「情緒と品位」につきましましては、合唱交歓会から体育祭、文化学習活動発表会、そして合唱コンクールまでの主要行事を参観させていただき日常の良好な学習態度、特色ある久寺家学習と相俟って一段と進化しており、本校の誇るべき伝統は見事に継承されています。他方、キャリア・体験学習・ボランティア奉仕活動・読書活動などについて学習時間や内容についてさらに改善し充実の方向での再検討、創意工夫を期待いたします。学校評価・アンケート調査結果へのコメントから2、3

①「やさしさ」「いたわり」「思いやり」「他者の痛みを感じることに裏打ちされた「ねばり強さ」「たくましさ」「たのもしさ」をどう醸成しさらに高めていくか、校訓の一つ「鍛錬」および学校教育目標との関連で一つの課題かなと存じます。

②「あいさつ」「清掃」「登・下校時のマナー」につきましましては、引き続き意識的な努力を継続することによって仲間意識・帰属意識・公共心などを涵養し、一段と高めていただきたいと思います。

③「教え上手は学び上手」「学び上手は教え上手」と申します。教えることの専門家である先生方の授業力・指導力・コミュニケーション能力などに一層磨きをかけてくださいますよう期待いたします。

目標管理による学校運営評価システムは、ほぼ定着してきたものと拝察いたします。評価のための評価にならぬよう評価結果による課題・改善点を共有し具体的改善による教育施策の充実・発展につなぐこと。つまりPDCAのC+Aを重要視してご推進くださいますようお願いいたします。

また先生方の個別目標については、目標面接（期首・中間・期末）の確実な実施および目標管理シートの活用などによるフォローとフィードバックをできるだけ実行していただきたいと思います。

学校評価における評価要素・項目について一言付言させていただきます。各学校個別の教育目標・具体的目標・重点課題などに関する評価項目とともに全学校の基本的な教育施策に関する共通の評価項目をご検討いただき評価システムの標準化、安定化を図りさらなる充実を期待します。

大震災後の防災・除染・危機管理は依然として重要課題であり昨今のいじめ・体罰・給食アレルギー問題など課題は山積しています。学校・家庭・地域の連携を一段と

強めできるかぎり三位一体となって地域の総合的な教育力の開発・活用・向上・に努めることによって「たくましい力と豊かな心を持った生徒」が育ちますよう学校施策の一層の充実と展開を心より祈っています。

学校評議員 安藤昭彦

開かれた学校づくり、特色ある学校づくり、地域とともに歩む学校づくりを教職員が一体になって取り組まれていることにいつも頭が下がる思いです。また感動しております。その成果を次年度に生かそうとしている学校評価がほぼ定着していることにも今日の学校運営にたずさわっている校長、教頭両管理職の熱意が、伝わります。我々学校評議員の思いつきの発想も、ていねいにお聞き下さり反映するようにご努力されていることもうれしく思います。

小生は、学区在住でないため評議員会や学校行事をとおしてしか生徒の教育活動を参観する機会がありませんが、授業風景や文化発表会等生徒をていねいに授業している教職員の姿、この日々の地道な活動が日本の教育を支えていることに自信を持って良いと思っています。

一部の不祥事が学校教育、教師不信を助長し、あたかも教育が不正常かのようにマスコミが喧伝します。困ったものです。どうぞ、すばらしい学校だよりなどで、アンケートで出ているつぶやきなどの解消に一層努められると良いと思います。卒業式、年度末を控え御多忙の中、貴職をはじめ教職員の御健康が守られますよう祈念しております。

学校評議員 西崎攻司

私は地域住民として評価を学校評価総括表、アンケート結果で行ってます。本校では「21世紀を生きる逞しい力と豊かな心を持った生徒を育てる」という学校教育目標を掲げて学力・体力・挨拶・礼儀の向上にここ数年励んできました。学力、体力は良いが、挨拶・礼儀の達成度はもう一步と云う所でした。

しかし今年度のアンケート結果からはすべての面で達成されてます。これは非常にすばらしい事で地味な努力を今後もしてゆかなければなりません。

学校に対する愛着が足りない生徒が1、2年生の中に多いと云う指摘があります。これには小学校から中学校に進学して中々急になじめないとか、先生方の定期的な異動が多い、父親の転勤による転居等の原因があると思います。しかし当校の卒業生である自分の子供達の例を見るならば卒業以来今でも同級生同志の親交が続いています。結婚式には、先生同級生及び転居、転校した生徒にも参加頂きました。学校に対する愛着は今でも持っています。中学時代は肉体的、精神的にも一番成長する時期で思い出も多くさんあります。伝統の浅い本校は表面的には愛着が薄いように見えますが、時期がたてば解決されると思います。

学校評議員 武藤 峻

今年度より、新学習指導要項が完全実施される節目の一年を迎え学習指導面で様々な準備を進め実施されていく中であって、学校は震災後の緊急時避難訓練や引き取り訓練、除染活動、職員の不祥事防止の為の研修活動、加えて世間の耳目を集めたいじめ体罰等の問題などにも素早く反応して学校全体で問題意識を共有されているとお見受けしています。

多岐に渡り様々な対応を求められる学校経営の評価を行うのは大変難しい事ではありませんが、今年度の生徒・保護者・職員へのアンケート調査はかなり整理されバランス良く回答を求めて充実した内容となったと感じております。

教職員のアンケート調査の結果（評価ポイント）については過去の調査から継続してその推移を分析する事で、教職員が共有すべき課題を洗い出して行く事が可能になるでしょう。

一方生徒・保護者のアンケート結果については教頭先生もおっしゃっていた通りむしろ自由記述の内容から汲み取るべき情報が見受けられました。

評議の場でも申し上げましたが、この学校評価が久寺家中の目指す学校の有り方を実現する為に共有する具体的でわかり易い指針となる一方で、画一的でマニュアル的なものにならないようお願いしたいと思います。

先生方お一人お一人が個々の人間的な魅力を發揮して頂き、生徒や保護者と信頼関係を築いて下さると信じています。

来年度もお世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学校評議員 飯田淑子

今年度より新学指指導要領が実施されましたが、数年前より先生方の細かなご準備により、生徒達にはさほどの戸惑いはなかったと感じます。学習に対し久寺家中の生徒達はとてもまじめに取り組み、親と子もとても熱心だと思います。ただその一方期末テストの棒グラフに目を通すと授業についていけない生徒もいるのかなあと感じる時もあります。

ここ数年の県立高校の募集状況を見ますと偏差値の低い学校が併合されたり、募集人数を減らしたりしている気がして、どんどん学力に力を入れて行かなくては、また学力の差がひらく生徒が増え、自分が行きたい学校に行きたくても行けない生徒が多くなるのではと思ってしまうます。少しでも生徒自身が学習に意欲を持ち、将来の夢が見つけれられる様な進路指導ができていくことを望みます。また親としても努力していくつもりでおります。

いじめや教育相談についてはもっとアンテナを親も学校もたてるべきだと思います。ここ数年、毎年のように心に問題をかかえた生徒が転校していったり、不登校にはならないケースが多くなったと思っています。力の暴力よりも言葉の暴力がその原因ではないのでしょうか。言葉は言ってる本人その一言が暴力につながると思っではない、だから気がつかず使ってしまうのではないのでしょうか。なかなかデリケートな問題、なのでいじめがゼロになるとは思っていませんが、少しでもはやく悩みをかかえている生徒を捜し問題解決につなっていく努力は、今以上に必要だと思っています。そのためにも生徒・教育・地域・保護者の連携はさらに力を入れていくべきだと思います。普通に学校生活を送っている生徒や物言をはっきり口に出す子ども、ちょっとしたことで、学校を休みしたり行動が変化したり、本当に思春期の子ども達は難しいところは多々ありますよね。

学校評議員 野口桂子

我が娘も含め生徒達が大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。

一年間評議員として学校経営と運営についてのお話を聞かせて頂き、私自身の考えをその都度お伝えして参りました。年間の四回の会を通し、学校評価するためのア

